

「双方向の県内就職支援活動にTRY！」

1. 取組の背景

- 兵庫県では20代の若年層の転出超過数が全国ワーストとなっており、県内就職率の向上は重要課題の一つ
- そこで、就職に際して東京圏に目が向かいがちな大学生に、県内の企業等の魅力を知ってもらい、ひいては県内就職を促進することを目的に兵庫県立大学と連携して本企画を立案
- 県内の魅力的な企業を招聘し、企業担当者による自社の魅力紹介や学生との意見交換を兵庫県立大学の講義として、平成30年度から継続実施 [\(バックナンバーはこちら\)](#)

2. 神戸財務事務所による地域連携の説明

若手職員から当局の地域連携に関する取組みのほか、若年層の転出超過・県内就職率の低下など、兵庫県が抱える課題について説明。



3. 参加企業

令和7年11月26日 兵庫県立大学
姫路工学キャンパス

姫路信用金庫 本店：姫路市

姫路市を中心に店舗を置き、地域に根差した地域密着型金融機関で115年の歴史を持つ。安定した財務基盤と多様なサービス、文化・SDGs活動で地域社会に貢献。

グローリー株式会社 本社：姫路市

通貨処理・電子決済・生体認証など多角的に事業を展開し、金融・流通・飲食分野を支えるグローバル企業。世界100か国以上で、社会の安心と業務効率化に貢献するメーカー。

令和7年12月15日 兵庫県立大学
神戸商科キャンパス

株式会社みなと銀行 本店：神戸市中央区

神戸市を中心に兵庫県全域を主要営業地域とする地方銀行。自治体や大学、産業界と連携し、事業創出・産業振興・観光振興等に取り組む地域密着型モデルが強み。

ケンミン食品株式会社 本社：神戸市中央区

神戸発のビーフン専門メーカーとして70年以上の歴史を持ち、「ケンミン焼ビーフン」を筆頭に国内外へ市場を拡大。食と健康への貢献を企業理念とする食品メーカー。

3. 学生との意見交換、質疑応答

姫路工学キャンパス



学生からは、「大学院卒か学部卒では、採用にはどちらが有利か?」「理系の学生が文系の職種を選択する場合に、どのようなアピールができるか?」などの質問がありました。

それに対して担当者は、「学歴は1つの情報として扱うが、それよりも人柄を重視するので、しっかり自己分析を行っておくことが大事。」「理系文系を問わず、“これから何を学び、それを社会にどのように活かしていくのか”といったことをしっかり伝えれば良いと思うので、そのためにはしっかりと目的意識をもって学生生活を過ごしてほしい。」など丁寧に答えていただきました。

神戸商科キャンパス



学生からは、「当初ご自身が希望していた働き方と、実際のギャップはあったか?」「今後、どのような業務でAIの影響が出てくると思うか?」などの質問がありました。

それに対して担当者は、「働き方についてギャップはなかったが、総務部門や営業部門など業務に幅があるので、人事異動で経験のない業務に配属されると新鮮な気持ちで取り組むことができている。」「一部の業務ではAIの影響を受ける可能性はあるが、営業や人事部門は対面でしっかりコミュニケーションすることが必要なので、AI化は難しいと思う。」など丁寧に答えていただきました。

4. イベント後の学生の反応

- 地元のメーカーで、骨格認証や顔認証などのコア技術を活用し、いくつもの新しい事業を立ち上げていると聞き、とても興味深く、勉強になった。
- 理系出身で信用金庫の営業職に就職されたというお話がとても印象的だった。自分の中では“理系は理系の専門職に進むもの”と思い込んでいたので、その考えが大きく変わった。
- 「銀行」というと窓口業務のイメージが強かったが、商品の営業をはじめ、地域貢献活動にも取り組まれていると知り、地域に根ざし、現場の声を大切にされていることがよく分かった。
- 焼きビーフンなどの商品はよく購入していたので知っていたが、会社のことはあまり知らなかったもので、今回の講義をきっかけに理解を深めることができた。一つのことにとわかれず、次々と挑戦していく会社の姿勢が特に印象に残った。

5. 最後に

今回の企画を通じて、学生に県内の魅力的な企業等を知っていただく良い機会となったと思います。学生が地元企業等に目を向け、ひいては兵庫県の県内就職率向上に結びつけば、大変嬉しく思います。

当所では引き続き、地域連携・地域貢献に取り組んでいきます。

【神戸財務事務所総務課企画係】